



カブト虫相撲大会

7月20日(日)、大崎小学校体育館において社会福祉法人愛生会の主催で「第37回カブト虫相撲大会」が開催されました。町総合体育館で例年開催されていますが、大規模改修中のため使用できず、今年は大崎小学校体育館で規模を小さくしての開催となりました。今回は対象を小学1年生から6年生までの事前エントリー制とし、応募総数354名に対し、抽選で選ばれた128名での熱い戦いが繰り広げられました。

オープニングセレモニーでは愛生会の方による手話での歌が披露され、見ている方も口ずさみながら楽しんでる様子でした。

競技は、「相撲の部」Aパート、Bパートに分かれ、惜しくも1回戦で敗戦した児童は「競歩」で競われました。参加した児童は、パート優勝を目指し自分のカブト虫の戦いを楽しんでいます。パート決勝では、会

場全体が小さなカブト虫の戦いに大熱狂でした。なかなか決着が付かない戦いに、会場全体から「頑張れ」「行けー!!!」声援が飛び交い、白熱した戦いを制したのは、パートA内田章大郎さん(鹿児島市)パートB竹井李薫さん(大崎町)でした。また競歩の部では、玉泉颯佑さん(鹿児島市)が周りを引き離す圧巻の結果で優勝しました。優勝した竹井李薫さんは「とても嬉しい。餌もしっかりあげて毎日優しく育てたい」と話していました。

閉会式で愛生会の新平金道理事長は、「カブト虫は自然に返してあげてください。また来年、そのカブト虫が卵を産んでみんなの所に来てくれるかもしれません。この自然豊かな大崎町を大切にしていきたいです。また、来年お待ちしています」と挨拶をされ熱い戦いに幕を閉じました。

